

活動紹介：地域の保健師さんと協力して妊娠中、 産後・育児のサポートをできる体制づくり

医療法人竹村医学研究会（財団）小阪産病院
母性看護専門看護師 金英仙（きむ よんそん）

<https://www.kosaka.or.jp/>

イクメンという言葉を耳にすることも増えました。政府も平成22年度に「イクメンプロジェクト」と立ち上げ、男性の育児休業率の取得率増加を目指しておりますが、未だ男性の育児休業の取得率は1割に達していません。そのため、育児について相談できる人がいない、ワンオペ育児など、悩みをもつ母親やご家族は少なくありません。核家族化が進んだ日本では、育児だけでなく、妊娠・出産に関しても同じ悩みを持つ方はたくさんいらっしゃいます。



私たち母性看護専門看護師は、母子とそのご家族が安心して健やかに暮らせるようサポートしています。妊娠婦さんとご家族の状況や悩み、不安に寄り添い、専門家として地域保健師のサポートが必要と判断した時は地域保健師の情報提供や紹介・連携があります。地域保健師は、みなさんが暮らす地域で生活をサポートする専門職です。

会議の様子

私の勤務先では、地域保健師と定期的に会議を開催しています。地域保健師と顔の見える関係になったことで、連携しやすくなったりだけでなく、もっと良いケアができるためにどうしたら良いかと一緒に考え取り組んでいます。

今後も地域保健師と協力同心して取り組んで参ります。

< CNS の調整機能 >



会議の参加者：当院スタッフは白衣